

# 大池中学校だより

四日市市立大池中学校 第16号  
令和7年7月3日(木) 発行: 校長  
大池中学校 HP QRコード➡ ➡



## 学校教育目標 『心豊かでたくましい実践力のある生徒を育てる』

### 【学校教育目標の具現化に向けた4つの重点となる取り組み】

- 確かな学力の定着 < 課題(問題)解決に向けた授業(仕掛け)づくり >
- 心豊かでたくましい健全な育成 < 自分のよさに気づき、他者を認める >
- よりよい未来社会を創造する力の育成 < 夢や志の持てるキャリア教育の推進 >
- 子どもの能力を伸ばす教育と学校づくり < 「ひとづくり」の場としての学校の実現 >
- ・一人一人の子どもの能力を伸ばす教育の実現 < 「組織(チーム学校)」として協働・連携 >
- ・学校教育力の向上

「大池中学校だより」では、大池中学校の生徒のみなさんと先生たちが一緒になって学校づくりをしている様子を、特にみなさんの一生懸命頑張る姿を伝えてきました。

ただし、今日は『全校生徒のみなさんに考えてほしいこと』を伝えます。4月から生活環境が落ち着き、学習環境が整い、一人一人が大変落ち着いた取り組みができる大池中学校だからこそ、この問題を発信し、みなさんと一緒に考えていきたいのです。学校は安心・安全な場所であり続けなくてははいけません。先生たちができること・みんなができることを大池中学校全員で考えましょう。決して断定できるものではないが、1人の自転車に対する「自転車置き場での損傷被害」にかかわって・・・

### 【概要(がいよう)】どのようなことがおきたのか

『毎日通学で使用している自転車が、6月に入って3回、自転車の前輪がパンクしていた』。  
この自転車は、みなさんと同じように、毎日2年生の自転車置き場に停めてあるものです。  
断定はできないが、3回のパンクはすべて、大池中学校の自転車置き場で自転車の前輪に傷をつけられた「損傷被害(そんしょうひがい)」だと思われる。

■1回目のパンクに気づいたのは、期末テスト最終日の翌日6月20日(金)登校する際、自転車に乗ったら前輪から空気がすべて抜けていた(パンクしていた)ことに気づいた。保護者の方から学校に連絡がはいる。

■2回目のパンクに気づいたのは、6月23日(月)の放課後、自分のクラスの場所に停めていた自転車置き場から自転車に乗って体育館側の入り口から出てしばらく行くと、前輪の空気がぬけてしまい、自転車を押して自宅まで帰った。保護者の方から学校に連絡が入る。自転車の修理屋さんが言うには、自転車前輪の地面に接するところ(タイヤの中央付近)に「鋭利(えいり: 先のとがった)なカッター」などで切られたと考えられる跡があった。



■3回目は、7月1日(火)下校時に、自分のクラスの場所に停めていた自転車置き場から自転車に乗って、学校から出てしばらく行くと、自転車前輪のタイヤのエアがなくなっていくパンクに気づいて自宅まで押して帰った。2回目のときと同じように、自転車の修理屋さんが言うには、自転車前輪の地面に接するところ(タイヤの中央付近)に「鋭利(えいり: 先のとがった)なカッター」などで切られたと考えられる跡があった。保護者の方から学校に連絡がはいる。

以上のような概要です。1回目、そして2回目までは正直、「下校途中や登校時に道路の釘(くぎ)を踏んでしまったり、道路の段差等で自転車前輪のパンクにつながった」と思うところがありました。また、現在の大池中学校の自転車置き場でこのようなイタズラと簡単な言葉では言えないくらいの意図的で悪質な「自転車損傷被害」が起きるはずがない、大池中学校の生徒を見ていてそう思いました。

全校生徒522人の生徒の多くの自転車の中で、1ヶ月の間で1名の自転車だけ3回も自転車の前輪の



同じ個所だけがパンクをしている特定された行為から、被害を受けた生徒を守ること。そして、大池中学校から同じように嫌な思いやつらい思いをする生徒を増やさないこと。このように、同じ生徒の自転車が3回目となるパンクが続き、大池中学校の自転車置き場で発生した、意図的な(いとてきな)自転車の前輪に傷をつけられた「損傷被害(そんしょうひがい)」として、全校生徒のみなさんに被害の概要をしっかりと伝え、みなさんから、知っているまたは、聞いたことがあるという情報を集めたいと考えました。

今、被害を受けた生徒はとても不安で悲しい気持ちになっています。もちろんご家族の方も同じです。でも本人は学校は楽しいし、友だち関係もいので学校は毎日行きたい。だからこそ、被害を受けた生徒の不安や悲しい気持ちが取り除かれ、安心・安全に楽しく学校生活が送れるようになっていくことが一番大切です。そのために、本日の朝読書(朝学習)の時間を使って、全校アンケートの実施に踏み切りました。そのための情報提供の協力をしてください。この件は、保護者の方からの相談でわかりました。そして、被害を受けた生徒とも相談をさせていただきました。このように、何か嫌な気持ちになったり、不安なことが起こったり・・・そんなときは、「・・・まあいいや」で終わらせず、担任の先生、学年の先生、教科授業の先生、部活動担当の先生たちに相談をしてくださいね。

大池中学校は、毎日、安全に安心して学習や部活動ができるみんなの大切な居場所です。今回の行為は、大池中学校に通う生徒が行った行為であるかはわかりません。しかし、大切にしているものが壊されたり、傷をつけられたり・・・人の心まで傷つける行為は絶対に許されるものではありません。

大池中学校の先生たちは、すべての子どもたちに不安や心配をあたえないよう行動をします。しかし、安心で安全な学校づくりは、先生たちだけではなく、みなさんの多くの目と、勇気ある行動と、悩んでいる人や困っている人に気づける心と、寄り添える一人一人の優しさがあってこそだと思います。

### 【本日、朝読書・朝学習の時間に全校生徒対象の form アンケートを実施しました】

このアンケート実施に至る理由は、全校生徒の自転車置き場で起こったことなので、自分事として考えてほしいこと。そして、全校生徒から情報や意見を聞くのは、大池中学校で同じことが起きないようにしたいという目的があります。記名式にしたのは、自分の言葉に責任を持ってもらうことと、情報があれば、今後、必要に応じて話を聴かせてほしいからです。

### 【対応として、先生たちができること】

- ① 休み時間などの学年の先生方が、できる範囲でみなさんとお話をしたり、学年やクラスの様子を確認したりする「見守り活動」や、部活動終了時(部活度がない場合も)の自転車置き場での「下校指導」を大切にしていきます。
- ② いつでも、みなさんが困ったとき、心配なことがあったとき、相談に乗ってほしいときは、担任の先生だけではなく、学年の先生、部活動の先生にも「教育相談」を受けられます。また、予約ができれば「SC(スクールカウンセラー)」にも相談ができます。
- ③ 学校だけではなく、家庭や地域のみなさんと協力して、みなさんの「安心と安全」を守ります。

### 【対応として、生徒のみなさんができること】

- ① 今回のように、「学校内で発生したと思われる自転車の損傷などのトラブル」や「何か嫌な気持ちになったとき、まあいいや・・・」で終わらせず、先生や周りの人にすぐに「報告」・相談をしてほしいと思います。
- ② 自転車置き場に停めた自転車のカゴに大切なものを入れたままにしない。自転車のカギを毎日必ず抜き取りましょう。そして、しっかりと管理をしてください。ハーフパンツのポケット等に入れっぱなしにならないように。カバンの中など、カギを落としてしまうことのないようにしましょう。
- ③ 自転車置き場で、自分の自転車だけではなく、周りの自転車が強風で倒れていたりしていた場合は、直してあげてほしいと思います。また、自転車を綺麗にそろえておくことも大切なことだと思います。